

テックス (1982)

TEX

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

時間 100分

初公開日 1984/06

公開情報 東宝

【解説】

考えてみればY. A. (ヤング・アダルト) スターの頃から、M・ディロンの主演作というのは本作のようにたって地味で、地に足の着いた役者的な印象は最初からある。このすぐ後の「ランブルフィッシュ」と同様（原作は同じS・E・ヒントン）、本作での彼の役どころも、兄に対し劣等感を持つすねた弟という、「エデンの東」の永遠のジェームズ・ディーンを模倣するもの。凶悪犯のヒッチハイカーに勇敢に対処したことで名を馳せ、行方知れずだった父と邂逅する主人公テックスは自らの出生の秘密を聞き……という展開もまるでデ・ジャヴ。だがディロンが図抜けてよいのと、脚本（監督ハンターとC・ハースによる）がごく自然なので。この兄弟の自立と連帯の物語はとても充実したものになった。傍役もM・ティリー、E・エステヴェス、B・ジョンソンと、今思えばなかなか贅沢な顔ぶれだ。

【クレジット】

監督	ティム・ハンター	Tim Hunter
製作	ティム・ジンネマン	Tim Zinnemann
原作	S・E・ヒントン	S.E. Hinton
脚本	ティム・ハンター	Tim Hunter
	チャーリー・ハース	Charlie Haas
撮影	リック・ウェイト	Ric Waite
音楽	ピノ・ドンナジオ	Pino Donaggio
出演	マット・ディロン	Matt Dillon
	ジム・メツラー	Jim Metzler
	ビル・マッキーニー	Bill McKinney
	フランシス・リー・マッケイン	Frances Lee McCain
	エミリオ・エステヴェス	Emilio Estevez
	メグ・ティリー	Meg Tilly
	ベン・ジョンソン	Ben Johnson
	トム・ヴァーチャー	Tom Virtue